



かつやま 9月定例会報告  
2020.10.22

# 議会だより No.77

【おもな内容】

一般質問 Q & A p 2  
常任委員会・特別委員会報告 p 8  
定例会結果報告 p11  
かつやまピックアップ等 p12

弁ヶ滝



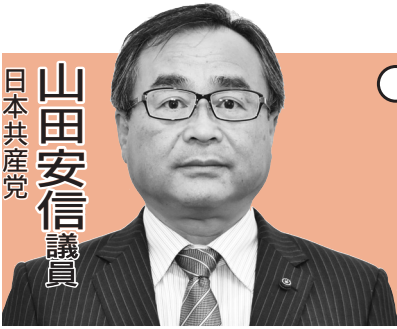
コチラから↑  
議会中継動画は



○ コロナの影響を考慮した指定管理や産業団地などの既存事業の見直しについて

そのほかの質問

- ・安倍政治の行き詰まりと新しい政治への転換について
- ・コロナ対策の検証と今後の課題について



山田安信 議員  
日本共産党

**問** ①勝山ニユーホテルの市負担総額を問う。

コロナ禍の影響3か月分で3150万円もの追加支払を今後も継続するのか。一旦休業や廃止等を検討しないのか。

②水芭蕉の改修工事2億円で入館者と売上金の増加予測、湯つたり勝山の閉鎖で水芭蕉利用者増の予測、指定管理費を5年間で7000万円も増額する根拠を問う。契約変更でなく再募集すべきだし、市民福祉施設に戻す等、抜本的に再検討すべき。

③ゆめおーれは今年4月から指定管理にしたために職員を別業務に派遣できず、経費削減もできない等の矛盾が噴出しており、再検討が必要だ。

**答** ①平成12年度から令和元年度までに勝山市が支出した金額は、約8億6890万円。交付金の追加支出は、議会とも相談して総合的に判断していく。今すぐに休業や廃止を検討するのではなく、観光産業の核として最大限の努力をしながら運営を続けつつ、状況に応じ

てあらゆる方策を検討していく。

②5年間で入浴者数が2万5000人、食堂利用者が3万1500人、宿泊稼働率が15%上昇し、最終年度では約2400万円の増収、約1100万円の利益と予想した。湯つたり勝山の閉鎖で、水芭蕉の利用者数が最大で1万5000人程度増加すると考える。コロナ禍以降も含め年間利用者数を12万人程度と見込み、年額1400万円の指定管理料増額の積算となった。契約変更については、

現契約者との協議を優先することが最も合理的だと判断した。入浴施設は、廃止ではなく様々な努力をしながら継続すべき施設であると考える。

③ゆめおーれ勝山を「織維のまち勝山」のシンボルとして位置付け、産業や観光と文化の両面からより充実した館の運営を行うためには、指定管理制度は有効なものであり、現時点では運営方法を再検討することは考えていない。

○ コロナ禍における市内移住施策について  
○ プログラミング教育とまちおこしについて

そのほかの質問

- ・コロナ禍における地域行事等の開催について
- ・子育て環境について



竹内和順 議員  
新風会・公明

**問** 全国知事会の全体会で、「コロナを乗り越える日本再生宣言」を採択し、一極集中を是正して地方分散を推進し、新しい時代を切り開いていこうと訴えた。

このように、都市部から地方への移住に関心が高まる中、勝山市内移住策について市の見解を問う。

**答** 新型コロナウイルスの影響で、都市部に住み続けることへの不安から、勝山市への移住相談も徐々に増加している。

この流れを受けて、本年度、移住支援に係るこれまでの補助制度を大幅に見直し、移住者に対する財政面での支援を強化した。今後、これら補助制度の活用状況や効果の検証を行いながら、短期的なスパンで随時、見直していく。

また、1万人を超える全国の移住希望者が利用する移住者スカウトサイト「スマウト」を活用して、勝山の魅力的な自然環境等を体験するプログラムを提案するなど、「勝山ファン」を創出したい。

**問** 本年度から小学校でプログラミング教育が必修化され、学校現場そして先生方には大きな影響を及ぼしていると想像される。教育現場のプログラミング教育の現況を伺う。

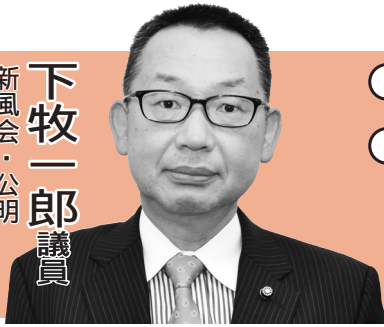
また、幸いにも市内にプログラミング教育の専門家がおられる。まちおこしに繋がらないか、市の見解を問う。

**答** 各学校では、文部科学省等が提供する研修用の資料や実践例を参考に、学習指導要領に実施が例示されている理科や算数等の教科での授業で活用する準備を進めている。今後、勝山市教育研究会と連携した研修会の開催等、各校の取組を積極的に支援していきたい。

また、勝山市で開催されていた「歯磨きロボコン」など、プログラミング技術やICTを用いて、学校から地域へと活動の範囲を広げ、まちの活性化につながるイベント等への発展も期待される。そうした視点も持って臨んでいきたい。

## 一般質問Q&A

新風会・公明  
下牧一郎  
議員



### ○学校の衛生管理について ○コロナ禍の防災について

そのほかの質問

- ・学校への携帯電話の持ち込みについて
- ・「共生」について
- ・修学旅行について

- 問** ①トイレの蛇口を自動水栓にしているかどうか。  
②コロナウイルスの影響で失業した人に学校の清掃および消毒作業員として働いていただき、先生の負担を少しでも減らしてはどうか。  
③小中学校の各教室に大型の加湿器とストーブを設置してインフルエンザ対策を実施すべきではないか。
- 答** ①国の補助金を活用して順次実施し、現在、各小中学校のトイレの蛇口238か所の内174か所、約73%がすでに自動水栓となっている。また、今年度、6小学校の体育館トイレの高質化工事を実施しているが、その工事の中で自動水栓への交換を予定している。  
②文部科学省の衛生管理マニュアルに効率的な消毒方法が示され、市内の小中学校では、児童生徒が行う通常の清掃活動に一部の消毒作業を取り入れていて、教職員の負担もかなり軽減されている。児童生徒や教職員の感染が判明した場合には、外部人材の活用や業務委託を行うことで、教員の負担軽減を図る必要があると考えている。  
③加湿器やストーブはこれまである程度設置してきたが、今回の補正予算で防災対策の観点から加湿機能付空気清浄機とストーブを予算計上し、一部を避難所となる学校に新たに配備する予定である。
- 問** ①冬の避難生活に備えて体育館に大型の「ジェットヒーター遠赤外線」ストーブを用意すべきではないか。  
②避難所難民が出ること想定して何か対策を考えているのか。
- 答** ①今回の補正予算で赤外線型ヒーターを整備する予算を計上している。  
②分散避難などについて市民の方々に周知するとともに、避難所の収容人数の確保に向けて、新たな避難施設として県有施設の利用や民間施設の駐車場などを避難所として活用できないか検討していく。

## 一般質問Q&A

新風会・公明  
安岡孝一  
議員



### ○「新しい生活様式」に向けた諸施策の具体化について ○地域経済とまちづくりとSDGs

そのほかの質問

- ・保育士や幼稚園教諭、児童センターの職員の支援について

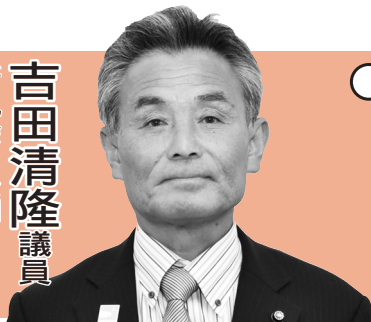
※地域内乗数…地域に入ったお金がどれぐらいの地域経済効果を生み出すのかを示す指標

- 問** 「新しい生活様式」に向けた諸施策の具体化について、次の点を問う。  
①GIGAスクール構想の計画と進捗状況  
②多くの人が集まる場所の水道やトイレ、ゴミ箱等とができる自動化の推進  
③新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を見据えて、高齢者のインフルエンザ予防接種の積極的な勧奨
- 答** ①今年度中に、家庭や学校外でも使用可能なタブレット端末を、全児童生徒1人に1台整備したい。特に小学6年生と中学3年生は10月から使用できるよう準備を進め、残りの学年は来年4月から使用できる予定である。  
②ソーブディスプレイなどの非接触型設備の設置で感染リスクを低下させる取り組みを研究していく。  
③今年度は昨年度より公費負担を増額することで、高齢者は840円の自己負担で接種できるようにする。積極的に受診勧奨したい。
- 問** まちづくりの土台である地域経済の「※地域内乗数効果」を高めていくべきと思うが、市の所見を伺う。
- 答** 環境省が発表している地域産業連関表では、平成27年における勝山市の地域経済循環率は76.8%、年間232億円が市外に流出していると報告されている。地域経済循環率を高めるには、これまで以上に地産地消を推進する必要がある。第6次総合計画の政策推進の根幹とするSDGsの理念を基に、社会や環境に配慮した商品を生み出し、それを付加価値として商品の価値を高めるとして売り上げを伸ばし、経済の循環と発展を推進するビジネスモデルを生み出す必要がある。市としては、こういった取り組みを積極的に支援するとともに、生産者と消費者がダイレクトにつながる道の駅などを活用して地産地消を推進し、地域経済の発展に努めていく。



○ 県立大学新学部誘致について

新風会・公明  
吉田清隆  
議員



そのほかの質問

- ・UDフォントの導入について
- ・学校給食の冷凍食品導入について
- ・学校の手洗い場の自動水栓導入について

**問** 福井県立大学が第3期中期計画（2019年4月1日から2025年3月31日までの6年間）で出した「世界的な学術拠点となる古生物学関係の新学部」は、恐竜学研究所の学術成果や大学院の教育研究実績を活かし、恐竜などの古生物学を中心にしながら、年縞に関する古気候学等も取り入れた新学部の開設を検討し、世界的な学術研究拠点を目指すとある。

勝山市には県立恐竜博物館が立地しており、新学部創設の基準には十分に当てはまる。勝山市は小学生を対象に「かつやまこども恐竜LABO育成事業」を行っており、恐竜に関心を持つ子どもが大勢いる。新学部を勝山市に誘致できれば、小学生が大学生との交流もでき、勝山で大学生活を送ることにすれば勝山市の活性化につながると思う。県立大学の新学部誘致について市の考えを伺う。

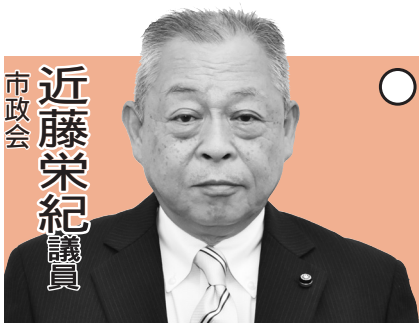
勝山市は、日本の恐竜研究の拠点である県立恐竜博物館や、恐竜化石の国内最大の発掘量を誇る北谷町杉山の恐竜化石発掘現場を有し、ジオパークを推進していることから、当市に恐竜研究を中心とする学部を設置することは、その理念と合致する。

恐竜博物館との連携、市と大学側双方のメリット、地域連携や市民交流のあり方などについて県と十分協議していくとともに、市議会をはじめ市民、関係者等のご理解とご支援をいただき、誘致に向けた取り組みを積極的に進めたい。

**答** 福井県立大学第3期中期計画において、福井の元気や持続可能性を支

○ 学校給食の今後について

市議会  
近藤栄紀  
議員



そのほかの質問

- ・災害時の対応について
- ・成人式について
- ・県立大学新学部の勝山市内設置について

**問** 勝山市の学校給食は、小学校が自校方式、中学校がデリバリー方式となっているが、小学校の給食について質問する。毎日子どもたちのために栄養面、衛生面を考え、食育を推進されている栄養士、調理師、調理員の皆さんの現場について、今現在の現場について、今現在配置されている調理師、調理員の人数および平均年齢、またそれは適正な人員配置なのか伺う。

その平均年齢は53才となっている。給食調理員の配置人数については明確に定めた基準はなく、勝山市では90食あたり1人以上配置することを目安としている。令和2年度の市内小学校の給食数は約1200食で、給食調理員1人当たり約60食となり、それぞれの小学校でこの条件を満たしている。

業務分担任は、原則として、週ごとに当番を変えて実施しているが、調理員が少ない小規模校では、固定的になることもある。また、業務内容については、会計年度任用職員は、会計年度任用職員の仕事範囲を超えていないと考えているが、正職員から会計年度任用職員への移行が進む中、新人職員が配置された場合には、ベテランの職員に多少負担をかけるケースもあると認識している。

今後、調理員不足が懸念されるが、学校給食の方向性を伺う。

**答** 市内の9小学校に正職員は8人で平均年齢が59才、会計年度任用職員は12人で平均年齢が50才、合計で20人配置しており、



## 一般質問Q&A

### ○ 地区の防犯カメラ設置について ○ 道の駅「恐竜渓谷かつやま」と「ジオターミナル」の現状について

そのほかの質問

- ・新型コロナ禍後の学校対応について
- ・コロナによる市内産業への影響について

※Park-PFI：飲食店、売店等の施設設置と、その施設から生じる利益を活用して、周辺の園路等を整備改修を一体的に行う者を公募により選定する制度

市政会  
下道恵子議員

**問** この7月に市内で、夜中に個人宅に窃盗犯が侵入し、物が盗まれるという怖い事件が起きた。市では令和元年に防犯カメラ設置に対し、1台3分の2以内の補助で1地区100万の上限とした助成金制度を設定したが、地区の負担を軽減するため、市で一括購入し、地域に必ず1台は設置することにできないか、市の考えを伺う。

**答** 当該補助制度は、設置にあたり自治会の総会等で同意を得ていることや、あらかじめ自治会と警察署とで協議を行うことなどが要件となっており、各自治会において住民の同意のもと、設置場所や維持管理方法、情報の取り扱い等について協議いただく必要があることから、自治会の意向を優先し、当該補助制度を活用して設置する方が良く考える。

当該補助制度を利用することで、自治会の皆様の個人情報に関する不安を払拭し、同意、理解がより得られやすいのではないかと考えている。

**問** 恐竜博物館が新型コロナウイルスのために入場制限をしている中、令和2年6月20日にオープンした道の駅「恐竜渓谷かつやま」の立ち寄り人数と収益はどのくらいか。また「ジオターミナル」の令和元年度との比較はどうか。

**答** 8月末日現在、来場者数は累計11万8096人、売上げは累計5012万3000円。

ジオターミナルの7月、8月の来場者数の合計は8万530人で、対前年度比で約45%。売上げの合計金額は3421万1000円で、対前年度比40%にとどまっている。長尾山総合公園の※Park-PFIや道の駅隣接地の観光関連施設誘致を進めるとともに、勝山市の観光コンテンツのPRに努め、観光客に市内周遊を促し、地域経済の更なる活性化に繋げる様々な観光施策を進めていく。

## 一般質問Q&A

### ○ 地域おこし協力隊について ○ 子育て支援について

市民の会  
富士根信子議員

**問** 地域おこし協力隊の方々の任期中の支給額はいくらか。どのような活動に取り組み今後の見通しはどうか。

**答** 市から隊員1名につき年間400万円を支給している。隊員各々が観光素材の磨き上げと商品開発等に取り組み、多様な形で市に新たな風を送り込んでいる。引き続き、特色ある地域おこし活動をサポートしていく。

隊員の任期後の定住を最大の目標の1つとし、任期中に先を見据えた支援を徹底し、一人でも多くの隊員の定住や関係人口の増加につなげたい。

隊員自身はSNS等を活用してPRしている。今後は、市内イベントにおけるPRブースの設置や市民との対話の機会を作るなどを検討していく。

**問** 子どものいる家庭の生活補助、母子、父子家庭への補助など金銭面は充実している。しかし、雨天で幼児や低学年児童が家族で遊べる場所が少ないとの声を聞いた。将来、親子で遊べる場所は子どものために必要だと思ふ。ぜひ、そのような場所をいくつか設置してほしいが、市の見解を伺う。

**答** 市内には、雨天時に家族で遊ぶことができる施設として、子育て支援センター「カンガルーのお部屋」や、ゆめおれ勝山、ジオアリーナ、図書館など、個人で利用できる施設がある。

しかし、子どもたちの成長に応じた施設は多くないため、今後、公共施設の有効活用などを含めて検討していく。

また、県のホームページには、親子で一緒に遊べる施設が数多く掲載されている。市内の施設と合わせてご利用いただきたい。



○ 国民健康保険税について  
○ 議会における情報のあり方について

そのほかの質問  
・コロナ禍における諸政策について

久保幸治議員  
日本共産党



**問** コロナ対策特例措置として、国保加入者に基金から年1万円の国保税の補助を、2年間限定で行うのはどうか。これなら医療費や県納付金額の増額に対し、年4000万円、加入者1人当たり1万円の値上がり、5年間、8000円の値上りを6年間準備できる。

**答** 本来、健康で幸せな生活を得るための制度でありながら、その制度維持のために加入者が高い国保税で苦しむのは本末転倒である。2年間の国保税の補助は、加入者への現状の救済制度として必要と考えるが、市の見解を伺う。

**問** 全員協議会で、水芭蕉の指定管理の議論中に、議員から「市民の声を聞くべき。」との発言に、理事者をはじめ議長から「この場の16名の議員が市民の声だ。」との発言があった。

平成29年6月議会で、世界から核兵器を無くそうという趣旨の内容で提出された核兵器廃絶の陳情は、13名の反対で否決された。前段の16名の議員の声が市民の声だと言うならば、勝山市民の約8割が核兵器の廃絶を願っていないことになる。

**答** 大原則として、直接選挙で市民から選ばれる議員と市長がともに市民の代表として、相互に独立対等な立場で市政を運営していく。「三元代表制」により、両者がそれぞれ適切に役割を果たすことで、市民の声を政策に反映させることができる。

今後市長と語る会等の取り組みを継続しながら、市民の声を広く聴き、政策に反映していく。

○ タブレット端末導入における子ども達への対策について

そのほかの質問  
・鳥獣害対策について

松本聖司郎議員  
新風会・公明



**問** タブレット端末導入によって学校ではタブレット、また自宅ではスマホにパソコン、eスポーツの流行によるゲーム機の使用によって、目に有害な光線を浴びる機会が今後確実に増えると考え、目がダメージを受けるとまずつながる臓器は肝臓。

**答** 併せて、今年コロナ禍においてSNSによる事件が発生していると報道されている。保護者に対する説明、注意喚起等をどのように行う予定しているのか伺う。

**問** タブレット端末導入が子どもたちへの健康被害へとつながることのないよう、使用時の姿勢、目と端末

機器との距離、使用時間等、健康維持に配慮すべきことが子どもたちに習慣化されるよう、しっかりと指導していくことが重要と考えている。目のダメージを回避するレンズの導入は、学校と相談しながら検討していく。

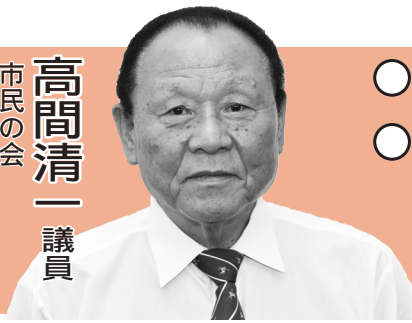
保護者に対する説明、注意喚起等の取り組みについては、タブレット端末で子どもたちがインターネットを安全に活用するために、安全でないホームページは閲覧できないようにフィルタリングを設定したり、メールでの外部接続はできない設定を行ったりするなど、教育委員会や各学校において、安全な利用環境を整えていく。

これまで、道徳や学級活動の授業、保護者の方にも参加していただく講演会を通して、SNSやインターネット等との付き合い方を含めた情報モラルに関する取り組みを行って、今後も継続・充実させていく。



○道の駅建設における入札について  
○勝山市職員の勤務状況について

市民の会  
高間清一  
議員



**問** 道の駅の建物工事の入札については、いくつかの疑問点がある。道の駅の内装工事の工事金額ならびに発注者について問う。

**答** 道の駅の建物の建築費用は、建築工事、電気工事、給排水工事を合わせて総額2億8480万1000円。また、内装工事分として物販エリアにおける内装及び物品を5210万5000円で勝山市観光まちづくり株式会社業務委託した。その中で14社と契約を締結している。

**問** なぜ、市の建物である道の駅の発注をまちづくり会社が行ったのか。

**答** 勝山市観光まちづくり株式会社は、既に道の駅の指定管理予定者として決定しており、道の駅のコネプトや将来を見越した効率的な運営の観点から、指定管理者自身が店内内装デザイン及び備品発注を入札した方がより効果であることから、当該業務を委託した。

**問** 勝山市職員で、現在心身の故障により通常の勤務ができない職員の数はどの程度か。また、職員が心身の故障に追い込まれている原因は何か。

**答** 勝山市職員で精神疾患により通常勤務ができない状態となっている職員の人数は、9月1日現在、正職員、再任用職員、会計年度任用職員すべてを含めた職員数444名のうち、3名で、その割合は約0.7%である。3名の休職者のうち、2名の職員は復帰に向けた慣らし勤務を実施している。

職員が精神疾患を発病する原因については、職員によってその要因となる状況や環境等が様々であり、仕事や家庭など様々な要因が精神疾患の発病に複雑に関連していると考えられる。

○消費税増税と新型コロナウイルスの影響による経済の低迷とその対策

市民の会  
中山光平  
議員



**問** 新型コロナウイルスへの対策は、ウイルスと経済の両面で行っていかねければならないことは周知の事実だが、実態は経済面の対策が少なく、多くの方が多大な不安の中で暮らしている。

厚生労働省の調べでは、2月から新型コロナウイルス感染拡大に関連する解雇と雇止めを集計しており、おおむね1カ月に1万人のペースで増えている。8月31日時点では見込みも含めて5万326人になったと発表した。この数字は事業所の報告に基づいていて、実数はさらに多いとみられる。民間がいつまで雇用を担保できるのか。全く楽観できない。今後多くの失業者が出ることも予想される。

現時点で勝山市は失業者や倒産等は数字に表れていないが、全国のデータをみると今後のためにも準備をしておく必要性を感じる。

勝山市はこの状況をどうとらえているか。これまで国、県、市が事業や雇用の安定のために対策をとってきたが、今後の対策はどのように考えているか。

また、2008年のリーマンショック時のように緊急雇用創出事業を行うことで、民間だけでなく行政でも雇用を担保可能な仕組みが必要であると考え、市の見解を問う。

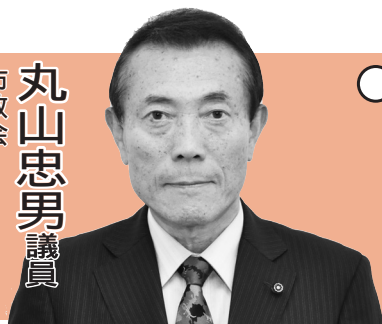
**答** 離職者数は新型コロナウイルス感染以前に推移と変わらない状況となっていることから、多くの市内事業所では、雇用調整助成金や持続化給付金などの国の支援や福井県、勝山市の支援策を活用し、経営を継続させる最大限の努力を行っている状況であると捉えている。今後も連携した市内既存事業所への支援施策が必要であると考えている。

緊急的な雇用対策のための事業として雇用創出基金と同様な基金が設立されれば活用していくが、現時点では既存事業所を支援し、事業を継続していくことにより、従業員の方々が安心して働き続けられることを優先すべきであると考えている。



# ○日本遺産に認定された七里壁の今後の取り組みについて

丸山忠男  
市議会議員



**問** 七里壁の崩落については、過去にも何人かの議員が一般質問等で質問し、崩落の原因となった壁の上に居住する地権者が修復するとの答弁で終わっていたと思う。しかし、平成31年1月末に福井県、福井市、勝山市が共同提案した平泉寺と旧勝山城下の街並み景観、大清水、七里壁を構成資産とする日本遺産の提案が、昨年5月20日に認定されたことで、七里壁が勝山市の文化財として指定を受けられる可能性が見えてきた。

七里壁が勝山市の文化財として認定されれば、市の補助を受けることができ、さらには国や県の補助も期待できる。

そこで、市長の見解および次の3点について問う。  
①七里壁全体の調査について  
②崩落箇所の修理方法について  
③負担割合について

**答** 日本遺産は、各遺産を満喫し、次の遺産に周遊することが求められている。平泉寺に來られた

観光客に、勝山城下町にも足を運んでもらい、歴史的な街並みや七里壁の景観、大清水などその歴史的な魅力に触れていただき、満足してもらえよう努力していきたい。

①日本遺産に認定されている七里壁は、立川町1丁目から栄町4丁目までの約2キロメートルで、その内、崩落箇所は2か所、将来的に崩落のおそれのある箇所は1か所。

②文化財の修理は、崩落前の状態に戻すことが原則だが、石垣が高くなるなど安全面に不安な部分があるので、景観に配慮しながらコンクリートで補強するなど崩れない方法をとることも必要で、文化財指定後、工事の設計段階で相談させていただくことになると思う。

③市の指定文化財に関する補助は、補助対象経費の2分の1以内、上限500万円となる。今は七里壁の石垣修復に関する国庫補助や県費補助事業の採択は見込めない現状である。

## 常任委員会報告

### 予算委員会

#### ■今定例会の審査結果

審査の結果、令和2年度勝山市一般会計補正予算（第5号）を可決しました。また、令和2年度勝山市一般会計補正予算（第4号）に関する専決処分の承認を求めることについては、承認しました。

#### 地域おこし協力隊増員活動費

地域おこし協力隊員の活動費の補正予算が組まれた今回の予算委員会では、協力隊員の活動状況や人数についての質問や意見がありました。

現在、7名の隊員ですが、諸事情で1名が活動休止中で、6名の隊員が専門的な技術や知識をいかし、それぞれの分野で活躍中と理事者から報告がありました。

地域おこし協力隊員の活動には、市も地域も大きな期待を寄せる中で、委員からは隊員の活動を多くの市民に知ってもらうための方法や、採用の人数と選考に関しての基準も必要との意見がありました。

#### 除雪費用について

除雪車の購入が3台分で589万円の減になったことについて、入札査定時に大きく下回ったとの説明がありました。

委員から、実物よりも管理費の方が重要との意見があり、建設事業者もコロナ禍で物資が届かないなどで仕事ができない部分が出ていることから、差額分を建設関係者に充てられるよう配慮してほしいとの要望がありました。

#### インフルエンザ予防接種について

新型コロナウイルスとインフルエンザは、症状が区別しにくいことから、インフルエンザ流行期には医療機関の負担が増大することが予想されます。

そこで、より多くの方にインフルエンザの予防接種を受けていただき、医療機関の負担を軽減するため、令和2年度に限り助成金を1000円上乗せします。満65歳以上の市民は1人当たり840円の自己負担額となります。子どもについては1回あたり2000円を助成します。（小学生以下は年2回まで、中学生は年1回）

委員からは、高齢者の予防接種が無料にならないかとの意見が出ましたが、医療機関での接種は1回当たりの差異があるため一律無料は難しいとの説明がありました。



## 債務負担行為補正について

債務負担行為：原則として予算は単一年度で完結させます。しかし事業等が単年度で終了しない場合に、あらかじめ後の年度の債務を約束する予算措置のことを債務負担行為といいます。

債務負担行為補正は4件あり、名目と限度額は次のとおりです。期間は全て令和7年度までの5年間です。このことについて、多くの議論が交わされました。

- ・北谷町コミュニケーションセンター指定管理業務（限度額6891万円）
- ・勝山ニューホテル指定管理業務（追加）（限度額1500万円）
- ・白山平泉寺観光振興拠点指定管理業務（限度額2906万円）
- ・温泉センター「水芭蕉」指定管理業務（追加）（限度額7000万円）

### 指定管理料の増額補正に対して

**委員**：勝山ニューホテルに対して指定管理料を増額する理由は何か。

**理事者**：利用者の減少に伴い指定管理料を見直した。また、観光の面から宿泊でお金を落とす仕組みが勝山市には足りていない。200万人もの観光客が来ていた中で宿泊者が10万人に留まっていることから推察可能。観光消費額という点で考えると、宿泊から落ち

てくる消費を無視することはできないと考えている。

### 指定管理制度に対する疑義

**委員**：業務委託の場合には市が必要ないと判断した事業は削ることができだが、指定管理では自主事業という形になり削れなくなった。それどころか指定管理者の運営がうまくいかなかった場合には市が補填している。これでは市が払い続けるばかりに見えるが、これは制度の欠陥ではないのか。

**理事者**：業務委託は委託料を市から満額支払っている。しかし指定管理は市から支払われる指定管理料以外に自主事業という収入源を持っているので、指定管理料が指定管理者の全歳出の半分を上回る場合はその分の補填をしていない。そういう意味では、業務委託よりも指定管理の方が厳格な算定となっている。

### 人材の扱いについて

**委員**：業務委託であれば会計年度職員（勝山市の職員）として扱われるので、忙しい部署に人をまわす等して人材を効率よく使うことができる。指定管理に比べて効率的ではないか。

**理事者**：本来ならば指示という形ではできないが、コロナ禍という困難においては指定管理者に対してもマスク作りに協力してもらうなど、柔軟に対応していただいた。

### コロナ禍に5年先の計画を立てることへの危惧

**委員**：いつ新型コロナの影響が落ち着くのか予測が困難な中、何年も先を見越して計画を立てることは適当か。

**理事者**：恐竜博物館や平泉寺等の観光拠点に注目すると観光客が徐々に戻りつつある。また、各研究所の算定等も参考にしている。観光客が動き出してから準備をするのでは受け入れ態勢が不十分となる。そのような事態は避けたい。

### 今後の契約のあり方について

**委員**：指定管理料の増額補正は新型コロナの影響だとしているが、新型コロナの影響がいつまで続くのか分からないという答弁があったにも関わらずなげ5年間の増額と定めたのか。状況を見定めながら臨機応変に補正してはどうかと考えるが、その様な進め方は可能か。

また仮に5年契約にして、この先指定管理者の黒字が大きくなっても増額した指定管理料を払い続けるという話にもなりかねない。そういった可能性も含めて考える必要がある。

**理事者**：法律に照らし合わせると単年度の契約も可能だが、単年度契約となると指定管理者に求める継続性が損なわれることを懸念している。

また、現在は新型コロナ影響で補填を行っているが、今後影響が終息していけば黒字化していくと考えている。

大幅に黒字化することがあれば指定管理料に関して協議をする必要があると考えている。

### 地域公共交通に対する支援について

新型コロナウイルス感染症対応バス支援事業補助金として、生活路線バス（大野・勝山線と市内コミュニケーションバス）に197万2000円が計上されました。市内公共バスやタクシーには市独自予算で300万円を計上。主にバス座席の抗菌加工経費などの補助となります。また、電車利用促進対策事業費として、えちぜん鉄道への売り上げ減少への支援に3118万6000円が計上されました。

委員から、この補助金は国のコロナ対策交付金から全額対応できるのかとの質問があり、全額コロナ対策交付金の範囲内であるとの説明がありました。

## 総務文教厚生委員会

### ■今定例会の審査結果

審査の結果、議案5件について全て可決し、陳情1件を採択しました。

### タブレット型PC端末の購入契約の締結について

国は「GIGAスクール構想」を打ち出し、令和4年度までに小中学校の全学年で「1人1台環境」を目指す



しています。そこで、勝山市において  
は、本議会においてタブレット型PC  
端末を導入する案が提出されました。  
契約の金額は約9800万円、勝山  
市立全小中学校の児童・生徒に対し、  
1人1台のタブレット型PC端末を1  
581台購入予定です。市や個人負担  
ではなく、全額国の補助で購入されま  
す。運用にあたっては、教育委員会、  
学校現場との協議の上で詳細な規定は  
設けるが、レンタルではなく、自分の  
物として大事に扱ってほしいとの説明  
がありました。

### 勝山市成人式について

令和2年度の勝山市成人式は、令和  
3年1月10日（日）午後1時から開式  
会場は勝山市体育館「ジオアリーナ」  
で行うとの説明がありました。今年度  
は、新型コロナウイルス感染症対策と  
して、例年開催していた成人式実行委  
員会による「アトラクション」や「新  
成人のつどい」は中止します。新成人  
はアリーナに、家族や来賓は観覧席に  
間隔を十分とって着席します。また、  
今後の新型コロナウイルス感染状況に  
より、成人式を中止せざるを得ない場  
合も想定し、県内他市町の実施状況も  
注視しながら進めていきたいとの説明  
がありました。

そして、令和4年度以降の勝山市成  
人式についての説明がありました。平  
成30年6月、民法の一部を改正する法

律により、令和4年4月から民法で定  
める成年年齢が18歳に引き下げられる  
こととなります。そこで、令和4年に  
18歳、19歳を迎える高校1・2年生お  
よびその保護者を対象に成人式に関す  
るアンケート調査を行いました。（奥  
越圏内の高校に通っている者）その結  
果を踏まえ、令和4年度から勝山市で  
開催する成人祝賀行事は、20歳を対象  
に、開催時期もこれまでと同様の1月  
とし、「成人式」という名称について  
は、「20歳のつどい」等に変更したい  
との説明がありました。

### 令和2年度文化財保存活用地域 計画の策定について

文化財を未来に保存・継承し、観光  
やまちづくりに効果的な活用を行うた  
めのアクションプランであるとの本計  
画の目的の説明がありました。国庫補  
助100%事業。（希望申請額800  
万円に対して交付決定額450万円）  
既存の国・県・市文化財以外にも各地  
域の掘り出し物も対象となり、今後、  
区長や次世代を担う中学生、女性等地  
域ワークショップを開催し、計画を作  
成していきたいとの説明がありました。

委員からは、ジオパークまちづくり  
協議会もかなりの資料を持っているの  
で、連携を図りながら進めてもらいた  
いとの意見があり、市当局からは、しっ  
かりと連携したいと回答がありました。

## 建設産業委員会

### ■今定例会の審査結果

審査の結果、議案5件について全て  
可決しました。

### 令和2年度勝山市水道事業特別 会計補正予算（第1号）

北陸新幹線や東京オリンピック 関  
連工事の影響による資材不足や台風な  
どの自然災害の影響で、資材の調達に  
不測の日数を要し、繰越工事が増大し  
たことなどから、令和元年度分消費税  
申告に際し、消費税額に歳出不足が生  
じたため1060万5000円を補正  
するものです。

### 勝山市滞在型コンベンション施設 「勝山ニューホテル」の設置及び管 理に関する条例の一部改正について

4階の客室4室を恐竜をモチーフに  
した部屋に新設することに伴い、使用  
料の上限額等を改定するものです。  
今後、改修部屋を増設することは可  
能かとの質疑に対して、当面改修した  
部屋の使用状況を見て検討するとの説  
明がありました。

### 勝山温泉センター「水芭蕉」の設置及び 管理に関する条例の一部改正について

8月から進められている水芭蕉の改  
修により、改修後の各部屋の使用料の  
上限額を改定するものです。

宿泊料金はどうなるのかとの質疑に  
対して、指定管理者において設定する  
との説明がありました。

### 勝山市立北谷町コミュニティセ ンターの設置及び管理に関する 条例の一部改正について

北谷町コミュニティセンターと北谷  
公民館の業務の統合に向けて、その設  
置目的や事業内容を改定するものです。

## 特別委員会報告

### 議会改革特別委員会

議員定数については、新型コロナウイルス  
感染流行で開催が遅れている  
識者を招いての学習会や団体等との  
意見交換会について、再度協議しまし  
た。今後は、議会の機能強化等につ  
いても精力的に議論を重ね、定数につ  
いて総合的に判断することとします。  
タブレット導入については、9月補  
正予算に計上し導入に向け一歩前進す  
る傍ら、詳細な取り決めなどが未整備  
であることから、早急に運用規程等を  
策定するなど、導入に向けた環境整備  
に努めます。

その他としては、メール等の活用、  
議会改革の広報、議会広報の内容、事  
務局機能と公用車などについて、種々  
議論をしました。今後も、社会情勢や  
改革の優先度合いなどを考慮しつつ、  
活発な議論を重ねていきます。



# 定例会議案一覧 (令和2年9月)

表決を行った議案

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第19号	令和2年度 勝山市一般会計補正予算(第5号)	予算	可決
議案第20号	令和2年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	総務文教厚生	可決
議案第21号	令和2年度 勝山市介護保険特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	可決
議案第22号	令和2年度 勝山市育英資金特別会計補正予算(第2号)	総務文教厚生	可決
議案第23号	令和2年度 勝山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	建設産業	可決
議案第24号	勝山市母子父子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第25号	タブレット型PC端末の購入契約の締結について	総務文教厚生	可決
議案第26号	勝山市滞在型コンベンション施設「勝山ニューホテル」の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第27号	勝山温泉センター「水芭蕉」の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第28号	白山平泉寺観光振興拠点の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第29号	勝山市立北谷町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第30号	令和2年度 勝山市一般会計補正予算(第4号)に関する専決処分の承認を求めることについて	予算	承認
認定第1号	令和元年度 勝山市歳入歳出決算の認定について	決算特別	継続審査
認定第2号	令和元年度 勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	継続審査
議案第31号	勝山市公平委員会委員の選任について	—	同意
議案第32号	勝山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	異議がない
意見書案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	—	可決
意見書案第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	—	可決

## 表決結果

※意見が分かれた案件については、起立による表決を行っています。

案件	投票 総数	投票数		松本 聖司郎	中山 光平	安岡 孝一	富士 根信子	高間 清一	久保 幸治	竹内 和順	吉田 清隆	下牧 一郎	近藤 栄紀	下道 恵子	丸山 忠男	松山 信裕	梶山 寿憲	乾 章俊	山田 安信
		賛成	反対																
議案第19号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×
議案第30号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×

○=賛成、×=反対、不=不在、議長=議長職(通常は採決に加わらない)

## 請願・陳情

受理番号	要旨	付託委員会	議決結果
陳情第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	総務文教厚生	採択







## 勝山ニューホテルに「恐竜」をモチーフとした新部屋が！



ティラノサウルスルーム（イメージ）



ステゴサウルスルーム（イメージ）

勝山市滞在型コンベンション施設「勝山ニューホテル」に、ティラノサウルスとステゴサウルスをモチーフとした部屋を2部屋ずつ、計4部屋が4階に新設されます。完成は令和2年12月中旬の予定です。子どもたちに人気のある2種類の恐竜を使用することで、恐竜博物館に来る家族やグループの方々に楽しんでいただこうと企画されました。利用状況によっては、さらに増室することも検討されるようです。

（下道 恵子 記）

### 議会日誌

7月27日 総務文教厚生委員会、建設産業委員会	23日 秋の交通安全県民運動、予算委員会、
31日 全員協議会	決算特別委員会
8月2日 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会	24日 議会改革特別委員会、議会運営委員会、
6日 福井県市議会議長会定期総会	議会広報特別委員会
26日 県知事要望	28日 全員協議会、本会議
28日 全員協議会	10月1日 共同募金運動オープニングセレモニー
9月1日 勝山市表彰式	6日 決算特別委員会
9日 本会議、全員協議会	7日 議会広報特別委員会
15日 本会議（一般質問）、議会運営委員会	12日 議会広報特別委員会
16日 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会	13日 秋季消防訓練
17日 総務文教厚生委員会	15日 決算特別委員会
18日 建設産業委員会	19日 決算特別委員会

### 編集後記

暑かった夏も過ぎ去り稲刈りも終わろうとしています。

コロナ感染の状況はまだ予断を許されないなか、クマの人身被害もあり、行政も議会もその対応に追われつつも、台風被害など防災や冬の除雪など市民の暮らしを守る準備を進めていきます。

（久保 幸治 記）

議会広報特別委員会：委員長 下道恵子 副委員長 松本聖司郎 中山光平 富士根信子 久保幸治